

校内研修計画

神金小学校

1 学校課題

本校の児童は、全体的に明るく、元気で、素直である。子どもたち同士の仲は大変よく、休み時間や児童会行事では学年の枠を超えて遊び、諸活動においても上級生が下級生の面倒をよくみている。全校児童の一体感が見られる。学習指導では、少人数学級の特徴を生かし、児童の基礎学力向上が図られてきた。

一方、児童が相互に切磋琢磨する場面が減少し、幼児期からの友人関係の固定化もあり、ダイナミックな活動が少なくなったことが課題としてあげられる。自ら主体的に学び、自己判断・自己決定していく力の育成が急務である。

そこで、小規模校の特性を生かしながら、児童一人ひとりに確かな学力をつけさせるとともに、全校縦割り集団等を組織し、主体的で生き生きとした活動を数多く仕組みながら、児童自らが気づき・考え・判断する力、自己決定力が育成できるよう、全校体制で取り組んできている。今年度も継続し、小規模校デメリット解消の中心課題として取り組んでいきたい。

また、甲州市「確かな学力」育成プロジェクトとかかわりもたせた「学級づくり」や「授業づくり」「地域保護者との連携」の実践も5年を経過し、着実に成果をあげてきている。今年度もプロジェクトの連携を深めながら、確かな学力の定着と向上を一層推進していきたい。

さらに、昨年度から文科省「少子化・人口減少社会に対応した活力ある学校教育推進事業」の小規模校を存続させるためのモデル地区として、先進的なICT環境を活用した21世紀型地域創生事業の調査研究に着手してきている。今年度は、その2年次として、協働学習場面におけるICT機器の活用やICT機器をを媒介としたコミュニケーション能力の醸成、地域資源を活用した主体的に学びにかかわる「新たなふるさと学習」の実践に取り組んでいきたい。

2 研究主題 「自ら考え、進んで学習に取り組む児童の育成」 ～ ICT を活用した 学習活動の工夫を通して～

【研究目標】

各教科等の学習過程において、ICT環境を効果的に活用し、学習活動を工夫することで、子どもたちの主体性と思考力・表現力・判断力等を育むことを目指す。

3 主題設定の理由

学習習慣の確立と学級集団づくりへの取組により落ち着いた学習環境と「見通し・振り返り」に重点を置いた「児童にとって分かりやすい授業」に取り組んできた。その結果、基礎的・基本的な知識・技能の定着に向上が見られた。

しかし、課題として児童が多様な考え方に触れたり、互いの考えを比較したりすることを通してよりよい考えに気づいたり、自らの思考を深めたりすることが、本校児童に求められる必要な力であることが明らかになってきた。

そこで今年度の校内研では、各教科等の課題解決的学習過程においてICTを活用し、「考えを出し合い、受け止め合い、練り上げて、よりよい考えにまとめていく」児童の姿を目指して授業改善を図っていきたい。

また、ICT環境を活用することで、近隣の学校との交流を図り、新しい学習集団意識をもって自ら表現し伝え合え合うことができるのではないかと考える。

4 研究の内容と具体的方法

(1) 研究内容

- ・ 児童の実態把握(N R T検査, Q-U, アンケート) とK-13法分析とアタックシートを活用した集団づくり
- ・ 基礎的・基本的な学習内容の定着や学習意欲向上への取り組み
- ・ I C T環境の効果的な学習方法を工夫した授業実践
- ・ 家庭学習や学習規律の確立への取組と「家庭教育/子育てQ & A」の活用した家庭の教育力向上への取組
- ・ I C Tを活用した協働学習や「ふるさと学習」の実践

(2) 方法

- ・ 基礎研究・理論研究を行う。
- ・ アンケート調査による児童と学年集団の実態を把握する。
- ・ フィールドワーク等で地域の文化財について資料収集する。
- ・ 研究授業や一人一実践をし, 検証する。
- ・ 授業実践後, 児童への事後アンケートや意識調査, 職員同士の授業観察による意見交換を行い, 検証を行う。

年間校内研修計画

研究主任 廣瀬きよ美

研究テーマ	教科領域等	担当者	学年	授業の時期	t・c 要請
自ら考え、ICTを活用した学習に取り組む児童の工夫を通して	1 昨年度の成果と課題・edutab学習会	研究主任			
	2 研究主題・研究の方向性・学習会	研究主任			
	3 基本計画の確認・部会別研究計画 【Q-U分析】	研究主任			
	4 部会研究【Q-U分析】	部会長			
	5 学習会(フィールドワーク)	研究主任			
	6 学習会ICTを活用した授業の工夫について	研究主任		6月	
	7 授業実践(ふるさと学習の実践)	神宮司教諭	5年	7月	
	8 教育課程説明会還流報告	各教科担当			
	9 部会研究・一人一実践	部会研究			
	10 部会研究・一人一実践	部会研究			
	11 授業案検討1	部会長			
	12 授業案検討2	部会研究			
	13 研究授業 1	授業提供 1		10月下旬	○
	14 Q-UのK-13法分析(低学年)	低学年			
	15 Q-UのK-13法分析(高学年)	高学年			
	16 研究授業 2	授業提供 2		11月下旬	○
	17 部会ごとに成果とまとめ	各部会			
	18 集団づくり・部会の成果と課題	研究主任・部会長			
	19 研究の成果と課題	研究主任			
	20 全体のまとめ, 来年度の方向性	研究主任			